

14 敬語

名前

年組番

100点

1 「敬語の種類」 次の——線部の敬語の種類を、あとから選びなさい。 5点×5

- ① お客様に料理をお出しする。 ()
- ② 先生がこの手紙を書かれた。 ()
- ③ これはとても有名な本です。 ()
- ④ お客様が呼びになった。 ()
- ⑤ さあ、夕食にしましょう。 ()

ア 尊敬語

イ 謙譲語

ウ 丁寧語

2 「敬語の表現」 次の——線部を、() 内の敬語を用いた表現に直しなさい。ただし、指定の字数で書くこと。 5点×6

① 先生が夕食を食べる。 (尊敬語 五字)

② おいしい昼食を食べる。 (謙譲語 四字)

③ お客様に言う。 (謙譲語 五字)

④ 先生がそう言う。 (尊敬語 五字)

⑤ 美しい写真を見る。 (謙譲語 四字)

⑥ 先生にお話を聞く。 (謙譲語 四字)

3 「敬語の訂正」 次の——線部を適切な敬語の表現に直しなさい。 7点×3

① お客様がお帰りにられる。 ()

② 早くこちらへうかがってください。 ()

③ 父が一度お会いしたいとおっしゃっていました。 ()

4 「敬語」 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。 (1) 各完答 8点×3

先日、先生のお宅をお訪ねした。先生は私を書斎に通してくれて、最近描かれたという絵を見せてくださった。私が「とてもお上手ですね。」と申し上げると、先生は「どうもありがとうございます。」と申された。

(1) この文章中には不適切な敬語の表現が二か所あります。その部分を抜き出して、適切な表現に直しなさい。

・	・
↓	↓

(2) ——線部を、別の尊敬語を用いた表現に直しなさい。

--

14 敬語

名前

年組番

100点

解答

1 ① イ

② ア

③ ウ

④ ア

⑤ ウ

2 ① 召し上がる

② いただく

③ 申し上げる

④ おっしゃる

⑤ 拝見する

⑥ うかがう

3 ① お帰りになる（帰られる）

② おいでください（お越しください）

③ 申していました（申しておりました）

4 ① ・（通して）くれて

↓（通して）くださって

・申された

↓おっしゃった（言われた）

(2) お描きになった

解説

1 ① 「おくる」の形は謙譲語。

② 「れる」は尊敬の助動詞。

③⑤ 「です」「ます」は丁寧語。

④ 「おくになる」の形は尊敬語。

2 ・尊敬語⇨相手側の動作について述べる表現。

相手や第三者の動作や事柄などを高めて述べ、話し手（書き手）の敬意を示す敬語。

・謙譲語⇨自分側の動作について述べる表現。

自分や自分側の人物（身内）の動作や事柄などを低めて述べ、相手や第三者を立てる敬語。

・丁寧語⇨物事をていねいに述べる表現。

話や文章の聞き手、読み手に対してていねいに述べる敬語。

3 ① 「おくになる」という尊敬語と、尊敬の助動詞「れる」を二重に用いている。

② 相手の動作を言うので尊敬語を用いる。「うかがう」は謙譲語。

③ 自分の身内に関することを第三者に向かって言うときは、謙譲語を用いる。「おっしゃる」は尊敬語。

4 ① 先生の動作を言うので、「通してくれて」は不適切。尊敬語を用いた表現にする。「申された」はねじれた表現で不適切。

(2) 「おくになる」という形の尊敬語を用いるとよい。